

# RVS4000 ファームウェア バージョン 2.0.2.7 リリース ノート

2011 年 6 月

RVS4000 V2 は RVS4000 製品のハードウェア リビジョンです。RVS4000 のすべての機能は V2 製品でも維持されています。**ただし、ファームウェアに互換性はありません。**ファームウェア バージョン 2.0.2.7 は、Web ベースの設定ユーティリティで日本語をサポートする初のファームウェアです。

このリリース ノートでは、RVS4000 V2 ファームウェア バージョン 2.0.2.7 の変更点と既知の問題について説明します。

## 目次

本書の内容は、次のとおりです。

- [変更点](#)
- [既知の問題](#)
- [関連情報](#)

## 変更点

- ProtectLink サービスのライセンス サーバ用の SSL 証明書の問題が修正されました。
- VLAN をクラス C と指定したにも関わらずクラス A アドレスを使用して設定した場合に（例：10.0.2.1/24）、RIP メッセージのネットワーク マスクがクラス A サブネットとして表示される問題が修正されました。

- 次のシスコ セキュリティ アドバイザリで公開されているいくつかの Web インターフェイスの脆弱性が修正されました。[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_advisory09186a0080b7f190.shtml](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_advisory09186a0080b7f190.shtml)
- SSL および L2TP の DoS 脆弱性の問題が修正されました。
- RVS4000 の署名ベースの IPS エンジンでは、Skype 4 および 5 のブロックは効果的でないため、P2P ブロッキング リストから Skype が削除されました。
- Google の検索結果を使用することで URL フィルタリングがバイパス可能になる問題が修正されました。
- PPPoE 設定が修正され、ユーザ名およびパスワードに特殊文字が使用できるようになりました。
- 各ルータが必ず一意のデフォルト証明書を持つように、SSL 証明書の生成が強制になりました。

## 既知の問題

- QuickVPN クライアントを Windows Vista 上で実行している場合、QuickVPN トンネル経由でリモートの RVS4000 に 100 MB を超えるファイルを転送すると、転送に失敗し、トンネルが切断される。
- Windows XP SP2 のファイアウォールには、ファイアウォールを有効にすると、ICMP パケットがファイアウォールによって常にドロップされるという既知の問題があります。この問題が原因で、QuickVPN クライアントはリモート QuickVPN サーバとの間でトンネルを確立できません。Microsoft はこの問題を修正するパッチをリリースしています。パッチをインストールすると、この問題は解決します。詳細については、次のサイトを参照してください。  
[support.microsoft.com/kb/889527/en-us](http://support.microsoft.com/kb/889527/en-us)  
(注)：この問題は Windows XP を SP3 にアップグレードすることでも解決できます。
- ポート フォワーディングまたはポート トリガー ルールの設定を保存した後にルータによってファイアウォール モジュールが再起動される際、ルータが 10 ～ 15 秒の間ロックする場合があります。
- IPS が無効の場合、QoS レート制御は効果がない。  
**回避策**：代わりに QoS プライオリティを使用することを検討してください。
- 複数の VLAN を作成すると、DHCP リレーがサポートされない。
- IPS では、オープン ソースの Windows アプリケーションである eMule 0.48a をブロックできない。

- ルータのファームウェアをアップグレードするときに、進捗状況バーが 100 % に達する前にファームウェアのロードが完了し、再起動する。ルータが再起動を完了したことを確認するには、[POWER] LED が緑色に点灯し、[DIAG] LED が消灯していることを確認します。この時点でユーザは Web ベースの設定ユーティリティにアクセスできます。
- 非ネイティブ VLAN 上の Windows および Linux ユーザはインターネットを閲覧できない。  
**回避策**：ルータの LAN 設定で VLAN を選択し、DNS サーバ (192.168.x.1) を静的に割り当てます。
- RIPv1/v2 が有効な場合に、ルーティング テーブルにダイナミック ルートが追加されない。  
**回避策**：ルータを再起動します。
- WAN インターフェイスにスタティック ルートを追加しようとする、「ネットマスクとルートアドレスが競合しています」というメッセージが表示される。  
**回避策**：ダイナミック ルーティングを使用します。
- ルータの再起動後、E メール アラートが動作を停止する。  
**回避策**：再起動後、E メール通知設定を編集し、SMTP アカウントのパスワードを再入力します。
- 非ネイティブ VLAN 上のクライアントがステートフルまたはステートレス IPv6 アドレスを取得しない。  
**回避策**：エンド クライアントに IPv6 アドレスとゲートウェイと静的に割り当てます。
- Firefox で [ログアウト] リンクが機能しない。  
**回避策**：ブラウザを閉じるか、代わりに IE ブラウザを使用します。
- デフォルトの 6to4 IPv6 プレフィクスが間違っている。  
**回避策**：LAN 設定を変更して、IPv6 アドレスをデフォルトの 2002:c0a8:101::1 から 2002:WAN IP の 16 進表記::1 に変更します。たとえば、WAN IP が 173.37.194.116 の場合、IPv6 プレフィクスを 2002:ad25:c274::1 に変更します。
- LAN 上に Skype を実行しているコンピュータがあると、ルータが DHCP アドレスの割り当てを停止し、Web インターフェイスにアクセスできなくなることがある。  
**回避策**：Skype を無効にするか、Skype が有効な場合はスタティック IP アドレスを使用します。

### 関連情報

サポート	
日本のシスコ サポートコミュニティ	<a href="https://supportforums.cisco.com/community/netpro/small-business/international/japan2">https://supportforums.cisco.com/community/netpro/small-business/international/japan2</a>
スモール ビジネス保証とサポート	<a href="http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/support/index.html">http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/support/index.html</a>
ソフトウェア ダウンロード	<a href="http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html">http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html</a>
スモール ビジネス FindIT ユーティリティのダウンロード	<a href="http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/tools/download.html">http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/tools/download.html</a>
製品マニュアル	
シスコ スモール ビジネス ルータ：リソース	<a href="http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/index.html">http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/index.html</a>
シスコ スモール ビジネス	
シスコ スモール ビジネス 日本語ホームページ	<a href="http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/index.html">http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/index.html</a>

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標です。Cisco の商標の一覧は、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) でご確認いただけます。その他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1005R)

© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-25518-01